Town News 01 地元の「旬」を子どもたちへ
熊本北部漁協が海苔約4,400枚を寄贈

中逸町長に海苔を手渡す上田代表理事組合長（左）

熊本北部漁業協同組合（上田浩次代表理事組合長）は１月31日、町内の小中学校、幼稚園、保育所の子どもたちに一番摘み海苔を贈りました。地元の旬を味わってもらおうと、２月６日の「海苔の日」にあわせて行われている活動は、約30年も続く恒例行事です。

同日、町役場を訪れた上田代表理事組合長は、中逸博光町長へ約4,400枚の海苔を手渡し、「これぞ本物だという味を子どもたちには食べてほしい」とにっこり。中逸町長は「毎年、子どもたちにありがとうございます」と感謝の言葉を伝えました。後日、贈られた海苔は給食の時間などに配布され、子どもたちは旬の味をおいしくいただきました。

Town News 02 167人が大人への第一歩
腹栄・長洲中学校立志式

力強く誓いの言葉を述べた腹栄中の一瀬くん（左）と長洲中の中島くん

「立志式」（町青少年育成町民会議主催、福田了栽会長）は２月４日、ながす未来館文化ホールで行われ、腹栄・長洲両中学校の２年生167人が大人への一歩を踏み出しました。

立志式とは、古来の成人式「元服」にあたるこの時期に、成長を祝い、志を立てることを目的に行われているもの。式典では、清源寺区出身で現在、新日鉄エンジニアリング（株）九州支社長の徳永利美さんが講演し、自らの経験をもとに夢に向かって努力することの大切さを伝えました。

また最後には、生徒を代表して腹栄中の一瀬弘樹くんと、長洲中の中島仁志くんが誓いの言葉を力強く述べました。

Town News 03 連携で広がる可能性に期待
九看大、社協、町が地域連携協定調印

協定を交わす中逸町長、二塚学長、浦田副会長（写真手前から）

九州看護福祉大学、長洲町社会福祉協議会と長洲町における地域連携協定調印式は２月７日、町役場で行われ、今後、さまざまな分野での連携を約束しました。

調印式には関係者約15人が出席。二塚信九看大学長、浦田計廣社協副会長、中逸博光町長が「地域連携に関する基本協定書」に調印し、固い握手を交わしました。

今後、３者は、地域福祉の充実、地域の健康づくり、生涯学習、地域の文化・スポーツの振興など相互に連携し、さまざまな事業などに効果的に取り組んでいく予定です。中逸町長は、「大学が持つ知識や若い力を活用させていただき、地域の活性化につなげていきたい」と今後の抱負を語りました。

Town News 04 特選に大仁田繁さん（清源寺区）の「勇壮的ばかい」
平成23年破魔弓祭（的ばかい）写真コンテスト

特選に選ばれた大仁田さんの作品「勇壮的ばかい」

1月16日に四王子神社で行われた破魔弓祭（的ばかい）の写真コンテストの審査会は2月4日、ながす未来館で開かれました。

審査会には、九州各地から作品132点が出展。審査の結果、特選１点、準特選２点、入選７点が選ばれました。受賞は次のとおりです。（敬称略）

なお、作品は３月１日から14日まで、荒尾シティモールで見ることができます。

●**特　選**／大仁田　繁（清源寺区）
●**準特選**／角　和典（大牟田市）、与古田　弘（大津町）
●**入　選**／北川　征二（玉名市）、角　和典（大牟田市）、西本　明美（玉名市）、水落　幸雄（大牟田市）、浦津　辰男（宇城市）、古閑　孝一（荒尾市）、佐藤　誠治（荒尾市）

Town News 05 共に活動し親睦を深める
民生委員・児童委員と中学生が交流会

一緒にごみ拾いをする民生委員・児童委員と生徒たち

長洲町民生委員・児童委員協議会（宮﨑ミツエ会長）は２月13日、総合スポーツセンターで中学生との交流会を行いました。

交流会は、同協議会が地域の子どもたちと親睦を深めようと毎年行われているもの。同日は、委員と腹栄・長洲両中学校生徒あわせて約80人が参加し、同センター内や周辺の清掃作業を一緒に行いながら、交流を深めました。

その後は、日感寺修徒である塩田和香さんの講話を聞いたり、ともに昼食を交えながら学校紹介をしたりと和やかな雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごしていました。

Town News 06 広報ながすが佳作を受賞
熊本県広報コンクール

これからも皆さんに必要とされる広報紙に

このほど、県広報協会や熊本日日新聞社などが主催する「第54回熊本県広報コンクール」で、「広報ながす」が広報紙の部、広報写真の部共に佳作に選ばれました。

入賞したのは、広報紙の部が2010年の６月号から８月号まで、写真の部が12月号表紙「まちの小さな音楽家たち」です。

「広報ながす」は、情報提供や取材に協力してくださる町民の皆さんのおかげで発行することができています。本当にありがとうございます。これからも皆さんと行政をつなぐ広報紙となるよう、読みやすさを追及し、皆さんに愛される「広報ながす」をめざしていきます。

地域だより

塩屋区 どんどや

塩屋区（中西親幸区長）では1月16日、「どんどや」を開催しました。当日は約20人の区民が参加し、永方区から貰った竹で櫓を作りました。この日は非常に寒く、風が強かったので、竹を立てるのに苦労しましたが、区民の協力により無事に開催することができました。中西区長は「月華苑や区民の皆さんには、朝早くから協力していただきありがたく思います」と話しました。

強風に負けず、天高く燃え上がる炎

赤崎区 冬のお買物ツアー

赤崎区（牧野正幸区長）では12月15日、車の運転ができない人に、外出する機会をつくることを目的とした「お買物ツアー」を開催しました。当日は平均年齢84歳の6人の区民が参加し、荒尾市へ買物に出かけ、化粧品売場や生活用品売場、食料品売場を見て回りました。牧野区長は「初めての企画でしたが、皆さんの笑顔を見れて、よかったと感じました」と話しました。

ご近所みんなで楽しくお買物！

平原区 ぜんざい会

平原区（濱村隆喜区長）では1月23日、平原区学習センターにおいてぜんざい会が開催されました。当日は約80人の区民が集まり、午前中に行われたグラウンドゴルフ大会の表彰式や子ども会による合唱、コーラスや健康体操などの催しが行われました。濱村区長は「多くの人に参加してもらい、ありがたく思います。飛び入りでの歌もあり、盛り上がった一日となりました」と話しました。

歌と踊りによる出し物を披露

新山区 どんどや

新山区（島永邦生区長）では1月22日、新山区の海岸でどんどやを実施しました。当日は、朝から区民により竹の切り出しと櫓の組み立てを行い、各家庭から正月のしめ縄や松飾りを持ち寄って火を入れました。また、婦人会により豚汁も振る舞われ、島永区長は「寒い海でのどんどやで、おいしい豚汁を作ってもらい、区民みんなが身も心も温かくなった一日となりました」と話しました。

燃える炎に健康を祈願する区民